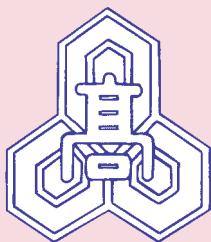


## 大田高校 P T A 広報



# 泰山木

Taisanboku

第105号

平成28年3月1日

島根県立大田高等学校  
P T A 総務委員会



### ノーベル賞によせて

校長 白井 泉

今年度も日本人科学者がノーベル賞を受賞しました。生理学・医学賞の大村智氏と物理学賞の梶田隆章氏で、これで日本人受賞者は二十四人となりました。一九四九年の湯川秀樹氏による初めての受賞が、敗戦に打ちのめされていた日本人に夢や希望、そして勇気を与えたことは有名ですが、七〇年近く経った現在もノーベル賞受賞という快挙が、日本中を熱くさせ元気づける構図は変わりません。

今回受賞の二人に共通することは、地方の公立高校（韭崎高校・川越高校）を卒業した後、山梨・埼玉という地元の大学で学ばれたことです。大学院は東京の大学ですが、素地となる勉強や基礎研究は地方の高校・大学でされました。地方創生が叫ばれ、東京へのヒト・モノ・カネの一極集中を是正しようという気運が高まっています。昨今、この快挙は地方に住む者にとって朗報となりました。二人に刺激され、日本の受賞者について調べてみました。

受賞者の出身地（卒業した旧制中学・高校の所在地）を見ると、京都・大阪が三人と多く、神奈川・愛知が二人で、東京は他の道府県と同じく一人でした。島根県は受賞者を出しませんが、中国地方全体を見渡しても、受賞者は平和賞の佐藤栄作氏（旧制山口中学卒）唯一人でした。

出身大学（大学院を除く）は、東大・京大がそれぞれ七人、六人と多く、次に名大的三人が続き、他の八人は各国立大学が一人ずつでした。しかし、最近は東大・京大優位という状況に少しずつ変化が起っています。一九〇〇年代の受賞者八人は全て東大・京大出身者でしたが、二〇〇〇年代に入つてからは他大学出身者が増え、東大・京大合せて五人に対し、他大学が十人という状況になつています。他大学出身者の多くは地方の公立高校から地元の大学に進学した人たちでした。

このように学問の世界では、政治や経済の分野より一足先に地方の台頭が見られます。ノーベル賞のハードルの高さは充分承知しつつ、大田高校も微力ではありますが、この流れに貢献できるように頑張りたいと思います。

# 卒業生へ 贈る言葉

保護者より

## 前途洋洋の未来へ

岡 田 博

はじめに、卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。息子が晴れて高校を卒業できたのも御教授頂いた先生方や温かく見守つていただきいた保護者の方、共に学んだ友達のお蔭だと感謝しております。心から御礼申し上げます。この度私は、泰山木の寄稿を快く引き受けさせていただきました。理由は息子が高校生になつてから学校生活の事や部活の事を母親に任せきりで無関心な父親であつたと思い、最後くらい何か出来ないかと思つたからです。

学校生活に無関心であつた父親を息子には許してほしい。また、この大田高校での思い出をこれから宝物にしてほしい。

最後に息子達に一言。手の届きそうな目標を持ち失敗をしてもそこで終わることはありません。辞めて諦めたら終わりです。諦めず、更に努力し目標を達成して下さい。

前途洋洋の未来へ羽ばたいて。

## 新たな目標に向かつて

重 田 真 二

卒業おめでとう。

あつという間に過ぎた三年間でした。部活動と勉強の両立は大変だつたと思いますが、やり通せた事で大きく成長しました。

中学校から続けたソフトテニスからは強い精神力や多くの友人という大切な物を得たと思います。

また、二年生から約一年半を仮校舎で勉強し、新校舎に入る最初の三年生となつた事もいい思い出になるでしょう。

そして高校を卒業し、四月からは新たな目標に向かつて進みますが、これまでお世話になつた方々へ感謝の気持ちを忘れずに歩んで行つて下さい。これから先に困難な事もあると思いますが、努力すれば必ず道は開けます。

## 楽しい、三年間でした。

大 門 英 樹

大高祭を見学に行くと、同級生や知り合いの保護者から「あなたの子どもさん最高に面白いね」とか言われます。誰に似たのか、人前で何かをするのが好きみたいです。それを認め、許して頂いた先生方には、本当に感謝しております。応援合戦で、真剣に踊る姿を見て、この情熱を少しでも、勉学の方に向けてくれればとか思いましたが、何か一つに集中出来ることが、将来、この子にとって、プラスになるのではなかると信じています。

大高に入つて弓道と出会い、良き先

この時期を、ともに過ごすことができた友達やたくさんの思い出は一生の財産だと思います。

卒業生の皆さん、旅立ちの時がやつてきましたね。これからいろんな出来事が待っています。困ったとき、悩んだとき、思い出してください。乗り越えてきた自分や友達の姿を。みんなしっかりと成長していますよ。進路はみんなそれぞれですが、その先どうなるかは自分次第です。誰のせいでもなく最後には自分が決断するのですから。たくさん可能性を持つ皆さん。何年か後の、たくましく美しい姿を心待ちにしています。

## 旅立ちに寄せて

岩 谷 一 美

卒業おめでとう。高校へ入学した時は、期待と不安の中スタートしました。

高校でもサッカー部に入り、部活と勉強の両立で大変でしたが、多くの仲間に励まされ、無事学校生活を送る事が出来ました。この三年間、素晴らしい仲間に恵まれ、とても嬉しく思います。

先生方には、上の子も含めて四年間、大変お世話になりました。進路については、将来の夢を早くに決め、多くの先生方に相談に乗つて頂き、今、新たな道が開かれようとしています。

まで成長出来たのも、先生方のご指導と適切なアドバイスを頂いたおかげです。とても感謝しています。

これから新たな生活が始まります。周りの支えてくれる友達に感謝し、多くの出会いを大切に、次なる夢へ向かつて進んで下さい。ずっと応援していま

# 三年生 かめらの メガジン

高校生活を振り返つて

一組 井原美日

に大変で、毎日眠気と戦っていました。また、この3年間は多くの方々に支えられ応援してもらい過ごせたように思います。勉強や部活で支えてくださった先生方や私の話を聞いてくれる友達や毎日弁当や洗濯や送り迎えをしてくれた家族などたくさんの人々に感謝しています。卒業後は不安なこともありますが、大高で学んだことや感謝を忘れずに精いっぱい頑張ります。

私が大田高校で過ごした三年間は、有意義でとても楽しくあつといふ間に過ぎていきました。一日一日がとても短く、いつの間にかもう卒業です。

私が高校生活で心掛けていたことは、毎日ボジタイブに生きるということです。苦しいことやつらいことがあつても前向きな姿勢でいれば、友達、家族、先生方が手助けをしてくれて、毎日がとても楽しかったです。私を支えてくれた方々に本当に感謝しています。私は今春から社会人になるので、少しづつでも支えてくれた方々に恩返しができるよう精一杯がんばっていきます。

一組 藤原昌也

旅立ちによせて

ていました。そのため家族には多くの心配をかけたと思っています。大田へ送つてくれた時は毎度のようにがんばれと声をかけてくれたので、それが励みになつて学校生活を送ることができました。

僕は大田高校に入学し個性豊かな先生方に出会い、行き先は違えど同じ目標に向かつて精進することができる仲間に出会うことができ、うれしく思います。これからは今まで支えてくださった方への感謝を忘れず、自分の夢を実現するためにがんばっていきたいです。

二組 津山茉鈴

次第に友達もたくさんでき、今では本当に毎日が楽しく、最初の頃の不安な毎日が笑い話にできるほどになりました。勉強や部活動などでも辛かつたこともありましたが、毎日が楽し過ぎたから辛いことが目立つだけだったのだと気づきました。三年間学校に通わせてくれた家族や、指導してくれた先生方、そして毎日支えてくれた友達に感謝して、卒業後さら

が、負けずにどんな事にも全力で取り組んでいこうと思います。  
そして支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず自分目標に向かって精一杯頑張ります。

大学生としての生活が始まります。今は、嬉しい気持ちと不安でいっぱいです。しかし、大田高校で学んだことを生かし、自分の目標に向かって努力していくきます。また、大学生活で、多くの経験を積んでいきたいと考えています。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、自分の選んだ道を歩み続けます。

四組 藤原暢之

四組 藤原暢之  
高校を卒業し、私は  
ちは自分で選択したそ  
れぞれの道へと旅立ち  
これから行動を自分  
で選択していきます。その選択した道  
や行動には選択した自分自身に責任が  
あります。そのことを十分自覚し、自  
分の選択に重みを感じながら行動しな  
ければいけません。

いわれはいにません  
また、そんな私たちの行動はこれまでと同じように多くの周りの人に支えられてできることだと思います。そのことに感謝し、これから私はさらなる成長に向けて頑張っていきます。

後輩へのメッセージ

私の高校生活は勉強に部活、寮生活と、忙しい毎日でした。振り返ればあつという間に一組 大隅綾乃

ることもあり、今思えばもつと頑張って取り組めば良かったと思つています。高校生活においては、友達の支えがあつて楽しく生活でき、進路や様々な面で先生方や親に支えてもらつたことをとても感謝しています。

二組 私にとって三年間はあつという間でした。勉強や部活動では両立をすることが大変で困りましたが、今思えばもつと頑張つぱ良かったたと思つています。おいては、友達の支えがあつて、生活でき、進路や様々な面で親に支えてもらつたことをとて、います。

私は大田高校での三年間、いろいろな壁に当たつてきました。勉強がわからなかつたり、した。その度に先生方や家族、友達、部活動の仲間といつた多くの方々に支えられ、充実した高校生活を送ることができました。みなさんもこれから辟に当たることがあるかもしれません。そんな時、色々な人を頼つて一つ一つ乗り越えていくつてください。そして感謝の気持ちを忘れずに目標に向かつてください。

## 三年一組

担任 森 星児  
副担任 川上 智恵

### 人それぞれ

担任 森 星児

三年一組の担任となつたとき、四十八人という人数の多さと、公立大学から就職までという進路の幅広さに、どうやってクラスをまとめていけばいいのかと悩んだことを今でも覚えていました。ところが、そんな担任の心配もどこ吹く風。新学期が始まつて間もないうちにクラスは上手にまとまって、体育祭では「団結の部一位」になるほどの団結を見せてくれました。

団結といつても、いわゆる排他的な団結でないところがこのクラスのすばらしいところです。それをよく表しているのが、「どこしえ」のクラス紹介にあった「ゆるくまとまつたクラス」という表現でしょう。四十八人もいてしかも方向性がバラバラな集団が「がつちり一つ」にまとまるなんて不自然過ぎます。仮にそう見えたとしたら、自分を無理に周囲と合わせて窮屈な思いをしている人が絶対にいるはずです。そのような不自然な団結ではなく、気楽な「ゆるい団結」であるためには「自分とは違う考え方の人を認める」ということがとても大切になります。得てして人は「自分は正しい」＝「相手は間違っている」と考えがちです。



## 三年一組

担任 大峰 昌裕  
副担任 坂井 樹史

### 「卒業おめでとう

担任 大峰 昌裕

でも、「自分は正しい」＝「相手も正しい」と考えられない、違う考え方を認めるることはできません。進路がバラバラだからこそかもしだれませんが、一組の人はこれがちゃんとできていたと思いますし、だからこそ一組は「ゆるくまとまつたクラス」でありえたのでしょう。

このようなクラスを担任することができる、本当によかつたと思っていました。これからも自分を認め、他人を認められる人で居続けてください。期待しています。

そんなときは「人の歩みを止めるのは”絶望”ではなく”諦観”である人の歩みを進めるのは”目標”で諦めることなく自らの意志で歩み続けて欲しいです。

今年の三年生の皆さん、旧校舎から仮校舎へ、そして新校舎へと一度の引っ越しを経験し、毎年のように学び舎が変わったためにとても思い出深い三年間になつたのではないでしょうか。それぞれの道へ進んでいくことになる皆さんには、この三年間の思い出と出会いを大切にしつつも、さらに思い出と出会いを増やしていく欲しいと思います。

皆さんにとって、ここからの道は生活環境も含めて今までとは違つたものとなるでしょう。期待と不安が入り混じった心境かもしれませんね。しかし、未来のことは誰にも分かりません。ただ言えることは、未知の体験が待つているということだけです。その中で私から皆さんに伝えたいことは、決して挑戦する心を失わないでくださいといふことです。間違いや失敗は誰しも経験したくないのですが、それらを経験することによってでしか得られないことがあります。私は、「挑戦なくして成長なし」という言葉と「努力なくして成功なし」という言葉を信じています。できない理由やダメな理由を並べて物事を否定する人がいますが、否定的な考えの上に物事が上手くいくはありませんよね。それでも上手くいかないことが多いのがこの世の中、

皆さんにとって、ここからの道は生生活環境も含めて今までとは違つたものとなるでしょう。期待と不安が入り混じった心境かもしれませんね。しかし、未来のことは誰にも分かりません。ただ言えることは、未知の体験が待つているということだけです。その中で私から皆さんに伝えたいことは、決して挑戦する心を失わないでくださいといふことです。間違いや失敗は誰しも経験したくないのですが、それらを経験することによってでしか得られないことがあります。私は、「挑戦なくして成長なし」という言葉と「努力なくして成功なし」という言葉を信じています。できない理由やダメな理由を並べて物事を否定する人がいますが、否定的な考えの上に物事が上手くいくはありませんよね。それでも上手くいかないことが多いのがこの世の中、



三年二組

担任 山本 晃史

卒業生の皆さんへ

担任  
山本  
晃史

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。私は卒業式で必ず言うよつとしていることがあります。それは『ご両親に感謝しよう。ご家族の方に感謝しよう。』ということです。皆さんがここまで成長できたのは決して自分一人の力ではなかつたことと思います。温かく見守り育んで下さった人がいたからでしよう。どうか人に感謝する気持ちを持つて下さい。今日この日を迎えることを最も喜び、祝福してくださるのはご両親および、ご家族の方だと思います。だからこそ皆さんの方から、人生の節目として『高校卒業したよ。社会に出てもがんばるよ。これまで本当にありがとうございました』と自身の成長した姿を見せてあげてください。照れくさいかもしけませんが感謝の言葉が口にできることこそ成長の証だ信じています。

また、皆さんには将来各分野の『リーダー』になつてほしいと期待しています。ところで『リーダー』って何でしょう。アメリカ海軍では、士官（リーダー）と紳士は同義語としています。紳士の定義を紹介したいと思います。

紳士とは『内も外も清潔な人、富める者をあがめず、貧しい者を見下さない人、負けて悲鳴をあげず、勝つて自



三年四組

担任田中  
副担任石原  
寛治

おめでとう卒業

担任  
田中  
求

なんということでしょうか。「この日が来るのは。もう明日から朝礼ギリギリに登校してくる人々を迎えるべく教室の前に立つこともない、いや、朝礼すらなくなる……誰もこない教室、空っぽのロッカー……皆さんのいない学校」明日から僕は何を糧にして生きていけば良いのか。旅立ちを祝う前に、自分の気持ちの置き場の心配をしている。教育者失格です。しかし本当に、どうしたらしいのか：実際には今はとある二月の深夜なのですが、皆さんが卒業していくつてしまふことをこうしてじつくり考えると、やはり正直どうしようもない寂しさがこみ上げるのです。今は卒業のことを考えたくないせいかなかなか書けず、締め切りをとうに過ぎたこの原稿を必死に書いています。さつきまで卒業式直前のことを夢に見ており、さらにその夢の中でも原稿を書いていました。夢の中では校長先生が式の前にどうしても三年生に会つておきたいとおっしゃり、突然放送で三年生全員を呼び出されます。皆が続々「校長先生ー！」と駆けつける光景を自分は遠くで見ており、一人一人が校長先生に褒められるのを見ながら、みんないい人たちだなあと涙する、という夢でした。そう、皆さんは僕にとって、稀に見るいい人たちでした。他に形容のしようがないほどに。この三年間自分の足が学校に向き続けたのは、皆さんのがいたからこそありました。



これからさらなる激動の時代を迎え、社会では（特に企業では）その時々で求められる力や人間像が叫ばれることでしょう。やれＩＴ活用能 力だ、やれコミュニケーション能力だ、企画力だ…。しかし、皆さんを見ていると「いい人力」とでもい うべき能力か資質が最大限に備わつ ているのでは、そしてその力でこの 先なんとしてもやっていけるのでは、と勝手に思ってしまいます。よって これからの方々の事を心配しては いません。自分の気持ちの置き場は 心配ですが：

卒業おめでとう。いつかまた会う ときも、地の塩、世の光たる、稀に 見るいい人たちでありますように。

# 【学校評価アンケートの結果について】

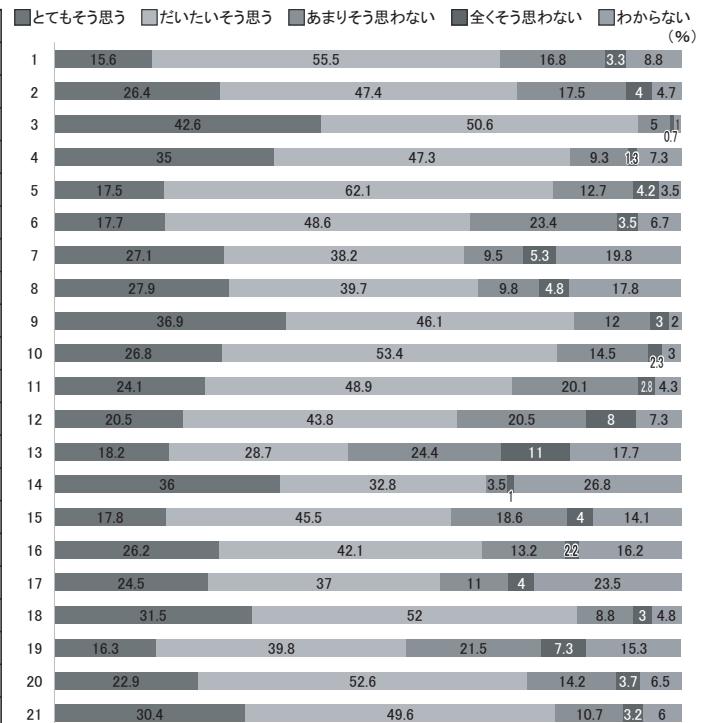
本年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。「学校評価」の制度は、本年度の本校の学校活動を、生徒・保護者・教職員が様々な項目で評価し、その結果を次年度の目標設定や改善策に生かして、より充実した教育活動の実践につなげていくものです。

今後は、このアンケート結果をふまえて、各担当分掌、学年会で反省と改善策を検討し、2月下旬の学校関係者評議会の討議を経て、3月中に取りまとめて公表いたします。

保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

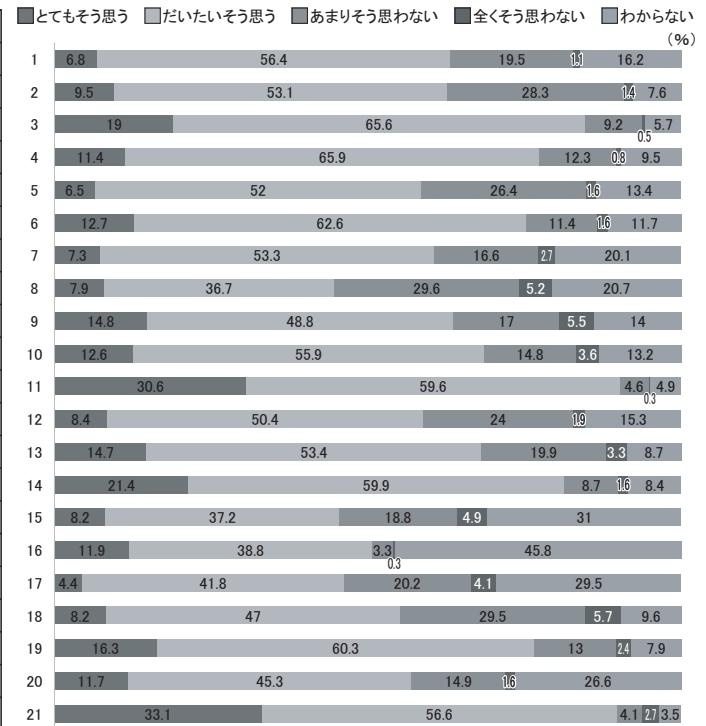
## 平成27年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全体：401名回答）

	評価項目	平均
1	本校は、今年度の重点目標（授業の工夫・改善、やる気を育てる生徒指導の充実、生徒一人ひとりの進路実現への支援、自他の生命・人権を尊重する生徒の育成等）を分かりやすく伝えていますか。	2.9
2	本校には、特色や良さがあると思いますか。	3
3	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていますか。	3.4
4	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていると思いますか。	3.3
5	授業（内容・進度など）に満足していますか。	3
6	授業が分からぬとき、十分なケアをしてもらっていると感じますか。	2.9
7	部活動の現在の活動内容に満足していますか。	3.1
8	部活動の活動時間は、適切であると思いますか。	3.1
9	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていると思いますか。	3.2
10	進路講演会や学年集会等を通して進路に関する情報は十分得られましたか。	3.1
11	キャリア教育（進路学習）を通して、自分の生き方・在り方について考えることができましたか。	3
12	土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は有意義ですか。	2.8
13	スクールカウンセラー（案内の配布・申込方法・実際の相談等）について知っていますか。	2.7
14	保健室では適切に対応してもらっていると思いますか。	3.4
15	健康・環境に関する必要な情報が得られていますか。	2.9
16	図書館は利用しやすいですか。	3.1
17	図書館には皆さんの読書意欲を喚起するような本が入っていますか。	3.1
18	学校は面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めていますか。	3.2
19	学校は生徒の学校行事やボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.8
20	学校は皆さんの学習習慣や生活習慣の確立のために努力していると思いますか。	3
21	総合的に見て、本校に入学して良かったと思いますか。	3.1



## 平成27年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：369名回答）

	評価項目	平均
1	本校は、今年度の重点目標（授業の工夫・改善、やる気を育てる生徒指導の充実、生徒一人ひとりの進路実現への支援、自他の生命・人権を尊重する生徒の育成等）を分かりやすく伝えていますか。	2.8
2	本校には、特色や良さがあると思われますか。	2.8
3	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていると思われますか。	3.1
4	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていると思われますか。	3.0
5	P T A 総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.7
6	P T A 広報「泰山木」・大田高ホームページは、学校の様子をよく伝えていますか。	3
7	本校の授業（内容・進度など）に満足しておられますか。	2.8
8	授業が分からぬとき、十分なケアをしてもらっていると感じられますか。	2.6
9	部活動の現在の活動内容に満足しておられますか。	2.8
10	部活動の活動時間は、適切であると思われますか。	2.9
11	服装・頭髪等本校の生活指導はきちんとなされていると思われますか。	3.3
12	保護者進路説明会やホームページ等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	2.8
13	キャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	2.9
14	土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は、お子様にとって有意義ですか。	3.1
15	スクールカウンセラーの内容（案内・問い合わせへの対応・実際の相談等）について承知されていますか。	2.7
16	保健室の生徒への対応は適切だと思われますか。	3.2
17	健康・環境に関する必要な情報が得られていますか。	2.7
18	何か心配なことがありますれば、学校に気軽に相談することができますか。	2.6
19	本校は、面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めていますか。	3
20	本校は、生徒の学校行事やボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.9
21	総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったと思われますか。	3.2



# 平成27年度 学校評価（教職員による自己評価）(37名回答) NO. 1

	重点目標	評価項目	平均	（%）				
				十分できている 不十分である	だいたいできている わからない	やや不十分である	2.7	5.4
学校重点目標	授業の工夫・改善	本校は、生徒の理解を促し、学力の伸長につながる授業の工夫や指導法の改善の機会を持つように努めているか。	2.9	10.8	73	8.1	2.7	5.4
	やる気を育てる生徒指導の充実	本校は、生徒の意欲とやる気を引き出すことを目指した生徒指導に取り組んでいるか。	2.9	8.1	78.4	8.1	2.7	5.4
	生徒一人ひとりの進路実現への支援	本校は、面談などの機会をとらえて生徒の進路志望を把握することができたか。	3.2	24.3	64.9	5.4	5.4	5.4
		本校は、キャリア教育やタイムリーな進路情報を提供することで、生徒の進路意識を高めることができたか。	2.7	10.8	54.1	24.3	5.4	5.4
	自他の生命・人権を尊重する生徒の育成	本校は、生徒の人権意識を高め、互いを尊重する環境づくりができるか。	3	16.2	70.3	10.8	2.7	5.4
総務部	積極的な生徒募集と広報活動	本校は、地域との連携やオープンハイスクール・学校説明会などで積極的な広報活動・情報発信を行ったか。	3.1	29.7	54.1	13.5	2.7	5.4
	校内組織が有機的に機能していくように校務分掌・学年会等との調整を図り、社会変化に対応した活力ある学校運営を支援する。	各校務分掌・学年会等が協働し、学校行事や会議等が機械的に実施されたか。	2.9	18.9	62.2	13.5	5.4	5.4
	保護者や地域社会と連携して、よき伝統に学びながら、社会に開かれた学校作りを支援する。	PTA 4委員会の活動を支援し、保護者や地域社会と連携した活動を行うことができたか。	3	8.1	73	10.8	8.1	5.4
	保護者や地域社会に対して、各種の情報を提供する。	「PTA 広報・泰山木」「大田高校HP」「授業公開日」などを通じて、各種情報の提供に努めたか。	3.0	18.9	62.2	16.2	2.7	5.4
	新校舎竣工式の計画・実施を支援するとともに、地域に情報を発信する。	新校舎竣工式の計画・実施にあたり、校内調整・外部への情報発信に努めたか。	3.1	18.9	73	5.4	2.7	5.4
教務部	授業公開や中高連携などを通じて授業の工夫・改善を図る。	授業改善を行なうための支援や環境整備をおこなったか。(研究授業、授業公開・授業参観、中学生への授業)	3.2	36.1	50	13.9	5.4	5.4
	習熟度別学習や個に応じた指導を充実させ学力向上を図る。	有効な習熟度別学習、少人数指導、個人指導の援助、そのための支援や環境整備をおこなったか。	2.9	11.1	63.9	13.9	2.7	8.3
	オープンハイスクールや学校案内を充実させ学校の魅力発信に努める。	生徒募集につながる魅力発信をおこなったか。(オープンハイスクール、学校案内、チャレンジ講座、中高連携、学校説明会、理科系事業、HP の更新)	3.2	33.3	50	5.6	5.6	5.6
	観点別評価を含んだ評価の再検討と運用上の整備研究に努める。	評価法の改善のための情報提供、環境整備をおこなったか。	2.5	8.3	44.4	27.8	11.1	8.3
		校務の効率的な実施のための環境整備や的確な支援をおこなったか。	2.9	16.7	61.1	13.9	8.3	5.4
生徒指導部	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、充実した学校生活への支援をする。気持ちの良い挨拶ができる生活態度を育成する。	基本的生活習慣を確立させ、規律ある生活態度を育成できたか。	3.2	27	62.2	10.8	5.4	5.4
	安全で安心な学校生活を保障するとともに、交通マナーの向上と人権擁護意識の高揚を図る。	登校中の交通マナーや自転車力ギかけを呼びかけると共に、安全で安心な学校生活を保障できたか。	3.1	21.6	64.9	13.5	5.4	5.4
	部活動、生徒会活動等の充実を図るとともに、全校生徒に地域社会に貢献する活動へ積極的参加を図る。	部活動、生徒会活動、地域貢献活動の充実が図れたか。	3	21.6	59.5	13.5	5.4	5.4
	進路実現のために必要な学力向上に努める。 ・効果的な補習の編成により受験に対応できる学力保障を図る。 ・生徒の学力分析を迅速に行なう教科指導に活かす。 ・教職員の研修の支援に努める。	生徒の学力向上に結び付く補習や学力分析を実施したか。	2.8	13.5	56.8	21.6	5.4	2.7
	適切な進路情報の提供に努める。 ・講演会や説明会を計画的に実施し、タイムリーな情報の発信を図る。 ・ホームページを活用した情報提供を工夫する。	進路講演会や進路説明会によって生徒・保護者に適切な情報の発信ができたか。	3	16.2	62.2	13.5	5.4	2.7
保健教育相談部	キャリア教育を推進する。 ・総合的な学習の時間やLHRを活用した進路学習を充実させ、低学年からの進路意識の向上を図る。	生徒の進路意識の向上を目指すキャリア教育を実施したか。	2.8	13.5	54.1	18.9	8.1	5.4
	心と身体の健康を自己管理できるよう支援する	生徒の健康状態の把握に努め、生徒の心と身体の健康や自己管理への支援ができたか。	3.2	27	67.6	2.7	2.7	5.4
	安全で清潔な環境づくりをめざす	清掃や安全点検を通して、安全で清潔な環境づくりができたか。	3.1	24.3	64.9	10.8	5.4	5.4
	教育相談の充実を図る	校内組織が機能し、教育相談が充実したか。	2.9	16.2	64.9	10.8	5.4	2.7
	生徒・教職員の図書館利用アップ ①読書活動支援 ②図書館活用教育推進 ③資料相談・情報提供 ④図書委員会活動支援	教科・ホームルーム活動等を通じ、図書館利用を高められたか。	3.1	27	54.1	16.2	2.7	5.4
図書視聴覚部	多角的・長期的視野での資料の選定・収集	多角的・長期的視野での資料の選定・収集に協力できたか。	3.2	27	62.2	2.7	2.7	5.4
	視聴覚教室・機器材の円滑な利用	視聴覚教室・機器材を円滑に利用できたか。	2.9	18.9	51.4	16.2	5.4	8.1
	寮生が自主的、自立的な集団生活ができる態度の育成を目指す。 ・基本的生活習慣を育成する。(挨拶、清掃、整理整頓時間の厳守等) ・規則、規律を遵守し、仲間と協力し、お互いを思いやった生活ができるよう支援する。	点呼への遅刻がなかったか。 積極的な挨拶ができたか。	3.3	24.3	29.7	2.7	2.7	40.5
	コミュニケーション豊かな家庭的雰囲気あふれる寮づくりを目指す。 ・寮生との面談や親睦会等を通して、心地よい人間関係を築く。	清掃、整頓に関する言葉かけを週1回以上行ったか。 新入生歓迎会、1学期レクリエーション、2学期レクリエーションを実施したか。	3.2	24.3	45.9	10.8	18.9	32.4
	寮生が学習に意欲的に取り組めるように積極的な支援を行なう。 ・自習時間の巡回や学習指導を積極的に行い、学習習慣の充実を図る。	宿直教員は、自習時間中の見回りを欠かさずに行ったか。	3.3	24.3	35.1	2.7	2.7	37.8
寮務部	寮生が健康で、明るい生活ができる環境の整備に努める。 ・衛生管理を徹底し、食中毒などの事故を防ぐ ・大掃除、部屋替え、日直、日々の清掃活動等を通して、寮生に自主的な環境整備に努めさせる。	食中毒警報の連絡を行ったか。 定期試験ごとの大掃除を欠かさずに行なわせたか。 舍監は汚れに気付いた場所を掃除させたか。	3.1	10.8	27	2.7	2.7	59.5
			3.3	21.6	29.7	2.7	2.7	45.9
			3	16.2	43.2	8.1	2.7	29.7

## 平成27年度 学校評価（教職員による自己評価）(37名回答) NO. 2

	重点目標	評価項目	平均	十分できている だいたいできている やや不十分である 不十分である わからない	(%)
人権同和教育部	人権を尊重する教育を推進する。 ・人権・同和教育推進委員会や各部署と連携して、人権・同和教育の計画の見直しと改善を図る。 ・「人権・同和教育部だより」の発行や研修案内を通して、広報活動を行う。	ホームルーム指導やたよりなどを通して、生徒の人権意識を高める教育ができたか。	3	13.5 67.6 10.8 8.1	
	人権について学ぶ機会を充実させ、人権・同和問題に関する深い理解と行動に向けた支援をする。 ・学年部と連携し、LHRのありかたを検討する。 ・校内研修会を充実させる。	ホームルーム活動の指導案や研修などを通して、教職員が人権について考え、意識を高めていく教育ができたか。	3	16.2 67.6 13.5 2.7	
	校外の関係諸機関との連携を図る。 ・各種研修会への参加や情報の提供、情報の収集を行う。 ・奨学金等、生徒の進路保障に関わる広報活動や援助を行う。	校外からの各種案内を広報して、教職員や生徒への情報提供ができたか。	3.1	18.9 64.9 13.5 2.7	
	人権を尊重した、豊かな人間関係を形成することを支援する	H.R活動や学校行事など学校生活全体を通して、人権を尊重した豊かな人間関係の形成を支援することができたか。	3.2	21.6 56.8 8.1 13.5	
	基本的生活習慣と自立的生活態度を育成する	学習時間調査や面談などを活用し、基本的生活習慣の確立と自立的生活態度を育成することができたか。	3.3	27 64.9 8.1	
	学習習慣の確立を支援する	毎日の授業や課題の提出、家庭での学習指導も含め、継続した学習を支援することができたか。	3.2	24.3 64.9 2.7 8.1	
	進路意識の高揚を支援する	進路講演会・進路学習、文理選択、個人面談を通じて、自らの進路意識の高揚を支援することができたか。	3.2	18.9 59.5 5.4 16.2	
	部活動・社会貢献活動を通じて社会性・協調性を育成する	部活動社会貢献活動を通じて社会性や協調性を育成することができたか。	3.2	18.9 64.9 5.4 10.8	
	各分掌・教科との連携強化による生徒理解を深める	各分掌各教科との報告連絡相談などの連携を密にし、共通認識のもと生徒理解を深めることができたか。	3	21.6 56.8 10.8 5.4 5.4	
	自立的生活習慣の確立を支援する。	自立的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.1	18.9 59.5 8.1 13.5	
1年部	人権を尊重し、豊かな人間関係を形成することを支援する	人権を尊重し、豊かな人間関係を形成することを支援することができたか。	3.2	21.6 64.9 5.4 8.1	
	学力の向上を支援する	学力の向上を支援することができたか。	3.1	18.9 67.6 8.1 5.4	
	面談を通じ、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行う	面談を通じ、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行ったか。	3.2	18.9 62.2 18.9	
	各分掌・教科との連携を図る	各分掌各教科との連携を図り、生徒理解を深めることができたか。	3.2	21.6 67.6 5.4 5.4	
2年部	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援する	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援することができたか。	3	16.2 59.5 16.2 8.1	
	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援する	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援することができたか。	3.2	24.3 51.4 10.8 13.5	
	自律的生活習慣の確立を支援する	自律的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.1	13.5 67.6 5.4 13.5	
	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援する	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援することができたか。	3.2	18.9 62.2 2.7 16.2	
	各教科・分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なう	各教科分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なうことができたか。	3	13.5 64.9 10.8 10.8	
3年部	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援する	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援することができたか。	3	10.8 55.7 22.7 3.5 7.3	
	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援する	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援することができたか。	3.2	26.7 59.4 12.5 1.5	
	自律的生活習慣の確立を支援する	自律的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.1	10 57.8 25 6.3 1	
	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援する	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援することができたか。	3.2	8.3 41 38.8 9 3	
	各教科・分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なう	各教科分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なうことができたか。	3	19.2 41.4 30.7 7.2 1.5	
	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援する	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援することができたか。	3	16.2 56.9 38.2 4 0.5	
	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援する	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援することができたか。	3.2	24.3 51.4 10.8 13.5	
	自律的生活習慣の確立を支援する	自律的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.1	13.5 67.6 5.4 13.5	
	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援する	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援することができたか。	3.2	18.9 62.2 2.7 16.2	
	各教科・分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なう	各教科分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なうことができたか。	3	13.5 64.9 10.8 10.8	
	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援する	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援することができたか。	3	10.8 55.7 22.7 3.5 7.3	
	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援する	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援することができたか。	3.2	26.7 59.4 12.5 1.5	
	自律的生活習慣の確立を支援する	自律的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.1	10 57.8 25 6.3 1	
	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援する	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援することができたか。	3.2	8.3 41 38.8 9 3	
	各教科・分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なう	各教科分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なうことができたか。	3	19.2 41.4 30.7 7.2 1.5	
	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援する	授業への取り組み姿勢と自学姿勢を育成し、学力向上を支援することができたか。	3	16.2 56.9 38.2 4 0.5	
	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援する	生徒面談を密にし、生徒個々に応じた進路実現を支援することができたか。	3.2	24.3 51.4 10.8 13.5	
	自律的生活習慣の確立を支援する	自律的生活習慣の確立を支援することができたか。	3.1	13.5 67.6 5.4 13.5	
	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援する	自他の生命と人権を尊重する態度を養い、豊かな人間関係の育成を支援することができたか。	3.2	18.9 62.2 2.7 16.2	
	各教科・分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なう	各教科分掌と連携を密にし、生徒個々に必要な支援を行なうことができたか。	3	13.5 64.9 10.8 10.8	

## 平成27年度 生徒自身による自己評価（全体：401名回答）

NO.	評価項目	平均	十分できている だいたいできている やや不十分である 不十分である わからない	(%)
1	私は、本校の重点目標(授業の工夫・改善、やる気を育てる生徒指導の充実、生徒一人ひとりの進路実現への支援、自他の生命・人権を尊重する生徒の育成等)を理解し、その実現のため努力しています。	2.8	10.8 55.7 22.7 3.5 7.3	
2	私は、授業をよく聞くようにしています。	3.1	26.7 59.4 12.5 1.5	
3	私は、授業の内容がおよそ理解できます。	2.7	10 57.8 25 6.3 1	
4	私は、各科目の学習の仕方がわかっています。	2.5	8.3 41 38.8 9 3	
5	私は、学力を向上させようと家庭でも日々努力しています。	2.7	19.2 41.4 30.7 7.2 1.5	
6	私は、校則を守るよう心がけています。	3.5	56.9 38.2 4 0.5	
7	私は、交通ルールを守り、安全に心がけています。	3.5	56.3 39.3 3.5 0.5	
8	私は、学園祭等の生徒会活動に積極的に取り組みました。	3.1	32.9 46.1 11.7 4.2 5	
9	私は、部活動に積極的に取り組んでいます。	3.4	46.3 29.5 5.5 3.8 14.9	
10	私は、自分の進路目標を決定するために、資料の収集や担任の先生への相談をしています。	2.6	16.5 39.3 30 11 3.3	
11	私は、進路目標の実現のため、学習やその他の活動にしっかり取り組んでいます。	2.8	19 47.8 27 4.3 2	
12	私は、補習（夏季・土曜日・平日等）にしっかり取り組んでいます。	3.1	32.9 45.1 15.2 3 3.7	
13	私は、模擬試験の事前・事後の学習にしっかり取り組んでいます。	2.5	14.3 34.8 38.1 10.3 2.5	
14	私は、自分の健康管理を心がけています。	3.3	42.4 42.1 11.5 2.8 1.3	
15	私は、学校の清掃にきちんと取り組んでいます。	3.5	51.5 43.3 4.5 0.3	
16	私は、ゴミの分別や節電など環境問題を意識した生活をしています。	3.1	32 43 18.8 3.5 2.8	
17	私は、図書館をよく利用しています。	1.7	6 10.3 25.8 55 3	
18	私は、普段の生活の中に読書の時間を取り入れるようにしています。	1.9	11.3 14.1 22.9 48.6 3	
19	私は、自分を大切にし、まわりの人にもおもいやりを持って接するように努めています。	3.2	34.1 49.4 10.8 2 3.8	
20	私は、普段の授業や新聞のニュースなどを通じて、人権問題に関心を持つように努めています。	2.6	14.3 39.5 29.5 12.8 4	

# Nikon Top Eye 全国 高校生写真サミット 2016に出場しました

・ 2月5日～7日に横浜で開催された「Nikon Top Eye全国高校生写真サミット2016」に大田高校写真部が初出場しました。

各校3人1組で、初日に出された撮影テーマ「走れ！横浜」に沿って作品をつくり、そのテーマ性や撮影技術・構成力を競い合いました。3人で協力しながら作品を作り上げ、第4位である「エブソン賞」を受賞することができました。

3日間では作品制作だけでなく、世界で活躍されている写真家の先生方から講評を受けたり、個人的に指導を受けたりすることができましたし、全国から集まった写真部の皆さんと交流したり、とても充実した時間を過ごしました。この経験を活かしながら、さらに頑張って活動していきたいと思います。 ■出場生徒：柿田知保実 松本真実 坂野すみれ

## Nikon Top Eye全国高校生写真サミットとは？

「全国高校生写真サミット」カメラスターのーコンが開催している高校生を対象としたコンテスト（年に4回）での入賞状況において、上位15校が「全国高校生写真サミット」の出場権を得ます。大田高校は4作品が入賞し、入賞ポイント74点で9位（11月の段階）となり代表校に選抜されました。「写真サミット」は各校3人1組で出場し、初日に提示された撮影テーマにしたがって、学校ごとに作品をつくるチーム戦です。

## 作品名「温故知新」



初めて行った横浜は、島根（大田）よりずいぶんと先を「走っている」都會だけれど、古いものや新しいものの、日本古来のものや異国のが混じり合って共存している。そんな横浜の姿を作品にしました。

# 健闘光る!!

(12月～2月の部活動)



寒稽古



保育実習



作品発表の様子

## 写真部全国大会風景 (Nikon Top Eye 高校生写真サミット2016)



今年度の一番大きなニュースは、新校舎完成式でした。「泰山木」でも増ページにしとお伝えした事が最も印象に残っています。PTA活動の様子を出来るだけたくさんお伝えできる様に話し合いました。今後とも本誌を読んで更に学校を身近に感じていただければ幸いです。

最後にこの一年間、編集に関わってくださった皆さんに深く感謝いたします。(小笠原悦子)

この一年間、PTA総務委員会の活動として広報誌「泰山木」の編集に携わってきましたが、今年度は新校舎竣工などあつた中、印象に残る報道部の活躍でした。

来年度以降も校歌に歌われているように『大すに根を据え』で、大田高校の文武両道を実現すべく活動されることを期待しています。

(藤原耕)

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございま

られす。三年生さんは社会人、または学生としてそれぞれ初違つ皆さんめいた道へと進んでいきます。皆さんの年かたで学んだ新しい事が待つていますが、この三年事がきつと皆さんを支えてくれる事であります。終わりに、「泰山木」の編集に携わった総務委員の皆さん、お疲れ様でした。(杉谷達郎)

## 編集後記

撮影中!